

校長のたわいもない独り言

つぶやき

令和2年9月10日(木) 第39号
発行人

さて、いよいよ明日です。大縄跳びのMC、実は緊張してる川崎先生。

☂天気だけは人知では如何ともしがたいです☂

今週はなんとも微妙な天気。大気が不安定で、ヤバいくらい大雨だと思ったら、お日様が顔を出したり、朝晩は涼しいけど、日中は暑かったり、こういう気候の変化って人間の疲労感を倍増させる。グラウンドでの練習が思うようにできないのに、学園祭当日は近づいてくるという焦りや、納得できる状態じゃないのに本番を迎えてしまうという不安。それ以上に、そもそも11日(金)の天気は大丈夫なのか?という不安。と、これを書いていても、天気予報は日に日に変化していく。願わくば、少々の雨はいいとしても、気温だけは上がらぬよう願う。

まっ、仕方ないか。すべてを受け入れて、それもまた学園祭。泣いたってわめいたって何かが好転するわけじゃなし。自然に、なるがままに、出来るときに出来ることをする。柳に風(自然に、なるがままに)。似た意味の言葉で①「コーヒーにクリープ」、②「咳に龍角散」③「川崎につぶやき」なんちゃって(/・ω・)/

♥ふと昔が偲ばれる(しのばれる)時がある♥

小笠原の町中を車を走らせていると、なんとなく昔の商店街が懐かしく思い出されてきた。中学校時代に小笠原橋北側の「さくま」で少年ジャンプを毎週買ったなあ。プラモデル屋さんってなんという名前だったっけ?(思い出せなくてなんかモヤモヤ(^_^))「野中楽器」でレコード買った&ギター買った。ジーンズはなんと言っても「ジロー」だな。「ざいもくや」のラーメン好きだった。マイホームセンター「ひので」なんて用もないのにウロウロしたし。制服のズボンやシャツは「久星」か「コンドー」。ヤーバンというメーカーがトレンドだった。ちょっと高級な服なら「むつみや」。洋菓子の「アルプス」にはインベーダーゲームが。喫茶店「よろずや」も静かで好きだったな。昔はたい焼きや小判焼き売ってた「つくし」。「中込百貨店」、「スーパーコマツ」、洋服の「ナガヌマ」と「ひつじや」。あーっ学校の目の前にあった駄菓子屋で揚げパンとチェリオや7upも良く食べた(これも名前思い出せなくてモヤモヤ)。そう言えば小笠原橋の西側に鉄道の鉄橋が残っていて歩いて渡ったっけ。

はいはい、中学生の皆さんには全く縁のない話です。お父さんお母さん、ひょっとするとおじいちゃんおばあちゃん世代かも。失礼しました<m(_)_m>

★コンピュータ部の展示・体験いった(^.^)/~~~★

なんか、久しぶりに大笑いしたな。自作のプログラミングゲーム。ナイフが降ってくるゲーム、隕石が降ってくるゲーム、こうもりを倒すゲーム。ナイフや隕石がシュンって高速で降ってくるから、スタートと同時にゲームオーバーだったり(°o°)。そしてこうもりを倒すゲームってカオス感半端ない。次から次へと増えてくるこうもりに埋め尽くされそうになるけど、必死でガンを打っていればなんとか生き残れる。でもそれ以上にこうもりが増える。一体どうすればいいんだあ〜。終わりが見えないこの絶望感。まるで全校生徒で缶けりやっているようなカオス感と絶望感(どっかで聞いたことあるフレーズ)。